

2020年3月期 第3四半期決算説明資料

2020年 2月 4日

喜びを創り喜びを提供する



<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



証券コード 2222

目次

- 2020年3月期 第3四半期決算概要 P 1～17
- 2020年3月期 通期業績予想 P 18～22
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 23～44
- 株式の状況・株主還元 P 45～48
- 参考情報 P 49～62

2020年3月期 第3四半期決算概要

2020年3月期 第3四半期(累計期間)の業績ハイライト

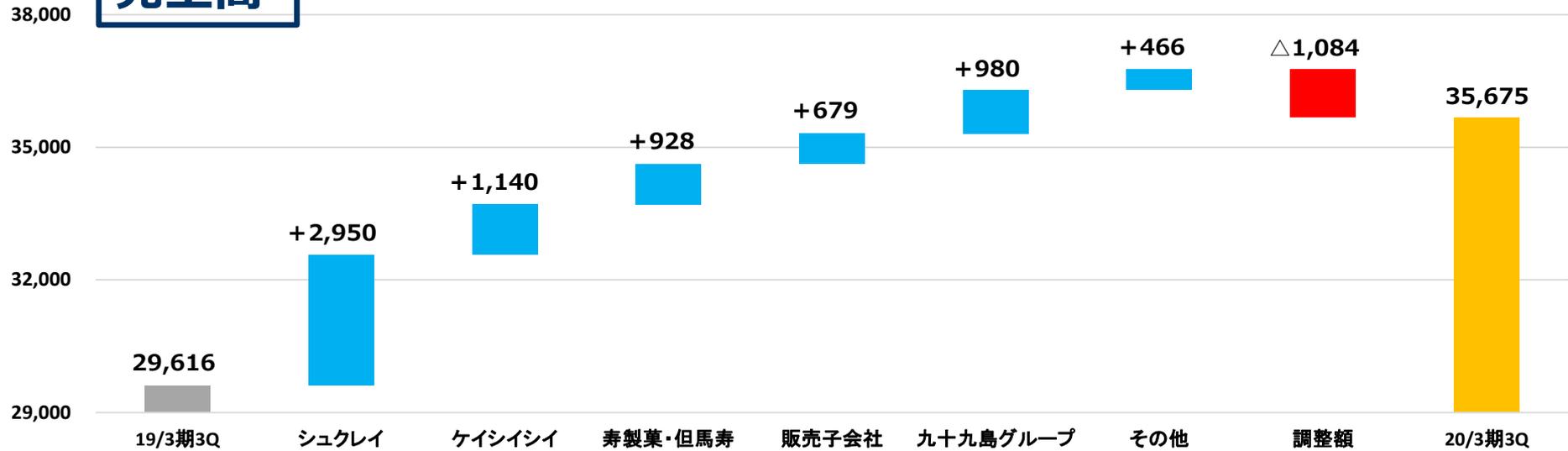
売上高 (前年同期比) **120.5%**、**経常利益** (同) **143.5%**

- 経常利益率が売上総利益率の改善等により、前年同期に比べ**2.8ポイント増加の17.5%**に。
- シュクレイは、売上高が、**30.1%増収**の12,752百万円、営業利益は**38.6%増益**の1,986百万円となり、引き続き躍進。
- 国際線ターミナル売店卸売上高 (インバウンド売上高) は、**35.5%増収**の4,528百万円。
- 香港の急激な事業環境悪化により、本年1月、海外連結子会社Honey Sucrey Limited (香港) の清算を決定。これに伴い店舗等の固定資産の減損損失46百万円を特別損失に計上。

2020年3月期第3四半期(累計)業績の前年同期比増減分析

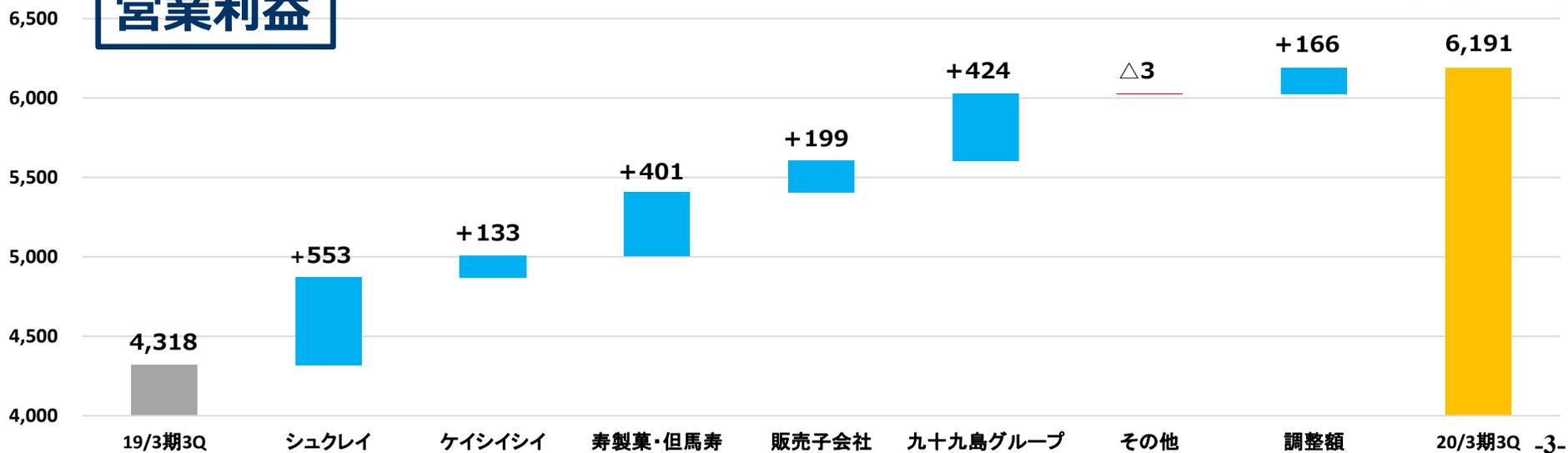
(単位：百万円)

売上高



営業利益

(単位：百万円)



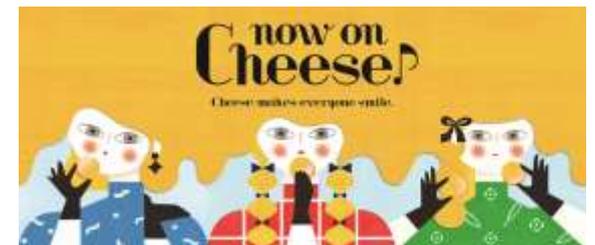
第3四半期会計期間(10~12月)のトピックス①

新商業施設渋谷スクランブルスクエアで3ブランド出店！



Butter Butler エキュートエディション渋谷店 (2019年11月)

now on Cheese♪ 東急フードショーエッジ店 (2019年11月)



FRANÇAIS エキュートエディション渋谷店 (2019年11月)

第3四半期会計期間(10~12月)のトピックス②

シュクレイ 新ブランド THE TAILOR 阪急うめだ本店に出店



THE TAILOR



THE TAILOR 阪急うめだ店 (2019年11月)



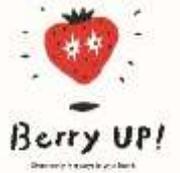
ザ・ショコラクチュール



ザ・フオンダンショコラフィナンシェ

第3四半期会計期間(10~12月)のトピックス③

シュクレイ 新ブランド Berry UP! 表参道に期間限定出店



Berry UP! 表参道店(2019年12月)



いちご大福



いちごポルポローネ

2020年3月期出店の状況

<p>シュクレイ (8店)</p>	<p>レモンショップbyフランセ 新宿店(2019年4月) キャラメルゴーストパーティー キラリナ京王吉祥寺店(2019年4月) Cow Cow Kitchen アトレ秋葉原店(2019年6月) Cow Cow Kitchen ルミネ大宮店(2019年7月) キャラメルゴーストガーデン 新宿ミロード店(2019年9月) Butter Butler エキュートエディション渋谷店(2019年11月) FRANÇAIS エキュートエディション渋谷店(2019年11月) THE TAILOR 阪急うめだ店(2019年11月)</p>
<p>ケイシイシイ (3店)</p>	<p>now on Cheese ♪ 渋谷東急フードショーエッジ店(2019年11月) Good Morning Table 横浜高島屋店(2019年11月) now on Cheese ♪ エキュート大宮店(2019年12月)</p>
<p>販売子会社 (3店)</p>	<p>BISPOCKE 神戸本店(2019年4月) BISPOCKE あべのハルカス近鉄本店(2019年5月) KYOTO VENETO 京都駅ポルタ店(2019年7月)</p>
<p>九十九島 グループ (2店)</p>	<p>I LOVE CUSTARD NEUFNEUF 福岡空港店(2019年8月) MISTER CARAMELIST 博多駅店(2019年10月)</p>

重点施策の成果①

・インバウンド対策の強化

【国際線ターミナル売店卸売上高】(インバウンド売上高) (単位：百万円)

前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減額	増減率
3,341	4,528	+1,187	+35.5%



重点施策の成果②

・海外展開

【海外売上高】

(単位：百万円)

前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減額	増減率
886	1,356	470	+53.0%

※この内、当第1四半期より香港子会社が連結対象になったことに伴い、香港向け売上を国内出荷ベースから、現地売上ベースに変更した影響額は262百万円。



Cow Cow Kitchen タイ Siam Paragon (2019年8月)



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
台湾 台中新光三越 (2019年9月)



重点施策の成果③

・首都圏でのWSR化展開の推進

【シュクレイ売上高】

(単位：百万円)

前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減額	増減率
9,802	12,752	+2,950	+30.1%



FRANÇAIS 海老名SA下り

シュクレイの売上高(前年比較)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減	増減比
店舗	4,631	5,611	979	21.1%
催事	1,808	2,442	635	35.1%
通販	186	245	59	31.8%
卸	3,050	4,203	1,153	37.8%
卸(グループ向)	128	251	124	96.8%
合計	9,802	12,752	2,950	30.1%

2020年3月期第3四半期(累計)業績(対前年同期)

売上面・利益面ともに最高値を更新

(百万円、%)	前第3四半期 (18年4月～12月)		当第3四半期 (19年4月～12月)		対前年同期		前期(参考) (18年4月～19年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	29,616	—	35,675	—	6,059	20.5	40,769	—
売上総利益	17,186	58.0	21,206	59.4	4,020	23.4	23,882	58.6
販売管理費	12,868	43.4	15,015	42.1	2,147	16.7	17,907	43.9
営業利益	4,318	14.6	6,191	17.4	1,873	43.4	5,976	14.7
経常利益	4,349	14.7	6,242	17.5	1,893	43.5	6,012	14.7
四半期(当期)純利益※	2,842	9.6	3,970	11.1	1,129	39.7	3,972	9.7
EPS(円)	91.32		127.59		36.27	39.7	127.64	

※ 四半期(当期)純利益=親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

販売管理費・営業利益

販売管理費率は人件費率の低下等により1.3ポイント減少

(百万円、%)	前第3四半期累計		当第3四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	17,186	58.0	21,206	59.4	4,020	23.4	23,882	58.6
人件費	5,172	17.5	5,826	16.3	654	12.7	7,016	17.2
販売促進費	2,145	7.2	2,530	7.1	385	18.0	3,139	7.7
運賃	1,220	4.1	1,514	4.2	294	24.1	1,705	4.2
広告宣伝費	212	0.7	192	0.5	△ 20	△ 9.3	268	0.7
地代家賃	1,864	6.3	2,415	6.8	552	29.6	2,591	6.4
減価償却費	313	1.1	395	1.1	82	26.2	451	1.1
旅費交通費	467	1.6	468	1.3	1	0.2	638	1.6
その他	1,476	5.0	1,676	4.7	199	13.5	2,098	5.1
販売管理費	12,868	43.4	15,015	42.1	2,147	16.7	17,907	43.9
営業利益	4,318	14.6	6,191	17.4	1,873	43.4	5,976	14.7

セグメント別の業績(対前年同期)

シュクレイが引き続き躍進/九十九島グループが大幅増収・増益

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第3Q累計	当第3Q累計	増減額	増減率	前第3Q累計	当第3Q累計	増減額
シュクレイ	9,802	12,752	2,950	30.1	1,433	1,986	553
ケイシイシイ	8,304	9,444	1,140	13.7	986	1,119	133
寿製菓・但馬寿	8,028	8,956	928	11.6	1,047	1,448	401
販売子会社	4,394	5,073	679	15.4	369	568	199
九十九島グループ	2,685	3,665	980	36.5	42	466	424
その他※	173	639	466	270.3	△ 110	△ 112	△ 3
セグメント計	33,386	40,529	7,143	21.4	3,768	5,475	1,707
調整額	△ 3,770	△ 4,854	△ 1,084	28.7	550	716	166
合計	29,616	35,675	6,059	20.5	4,318	6,191	1,873

※当第1四半期より連結対象となったHoney Sucrey Limited(香港)が含まれる。

第3四半期(累計)主要セグメントの状況

シュクレイ

既存店の販売強化及び積極的な新規出店などにより直営店売上が伸長。また、営業強化などにより国際線ターミナル売店及び駅売店での卸売上が好調に推移。出退店は、4月に「洋菓子のフランス」の新業態店「レモンショップ by FRANCAIS」を小田急新宿駅西口地下構内に、「キャラメルゴーストハウス」の新業態「キャラメルゴーストパーティー」をキラリナ京王吉祥寺にそれぞれ出店するなど、計8店の出店及び5店の退店を実施。

ケイシイシイ

2018年9月に発生しました北海道胆振東部地震のマイナス影響の反動増に加え、営業強化などにより国際線ターミナル売店での卸売上が堅調に推移。通信販売では、ロイヤルカスタマー対策や限定商品投入などの対策強化が寄与し、通販売上が伸長。新規出店では、昨年11月に「ナウオンチーズ」を渋谷スクランブルスクエアに出店するなど首都圏において計3店の出店を実施。

寿製菓・但馬寿

前年同期に実施したグループ向け生産の一部を他のグループ製造拠点に移管したことによる減収要因が一巡し、グループ向け売上が増収基調に転じた。また、「サンドクッキー」などの新製品の営業強化及び販路拡大などにより代理店及び山陰地区での卸売上が好調に推移。

販売子会社

東海地区において、2018年11月に出店を行った三重寿庵「伊勢神宮内宮前おはらい町通り店」の出店効果や改元祝賀ムードも追い風となり、主力商品「伊勢奉祝えびせんべい」が好調に推移。また、関西地区の販売子会社では、国際線ターミナル売店での卸売上が好調に推移。新規出店では、関西地区において昨年4月に新ブランド「ビスポッケ」神戸本店を立上げ、同年5月にあべのハルカス近鉄本店に出店し、更に、昨年7月に「京都ヴェネト」京都駅前地下街ポルタ店を出店するなど、計3店の出店を実施。

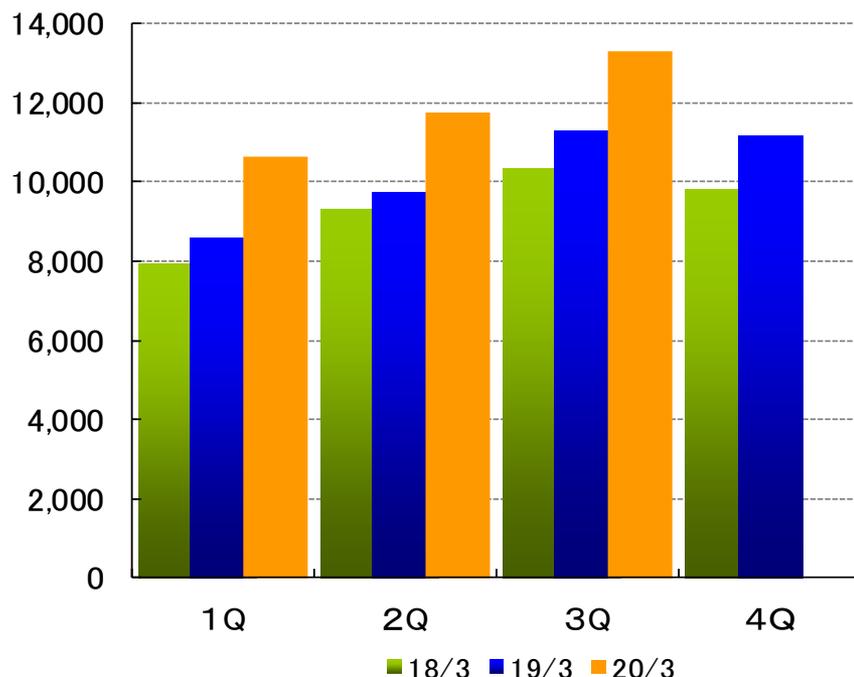
九十九島グループ

テーマパーク向けOEM生産の中止、製造ライン新設によるグループ向け売上の増大など前連結会計年度の期中からの取り組みが奏功し、収益性が大幅に改善。また、首都圏を中心にフレンチトースト専門店「アイポリッシュ」などの期間限定店舗の売上が伸長。新規出店では、昨年8月に「アイラブカスタードヌフヌフ」の2号店を福岡空港に、昨年10月に新ブランド「ミスターキャラメリスト」を博多駅構内にそれぞれ出店。

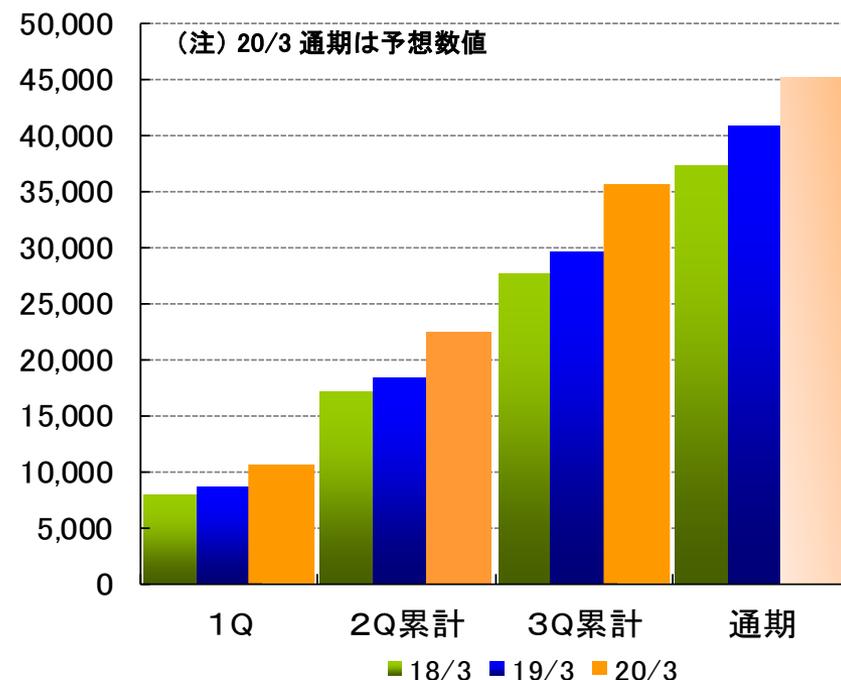
四半期業績の推移(売上高)

19四半期連続で増収/3Q(会計)17.9%増収

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



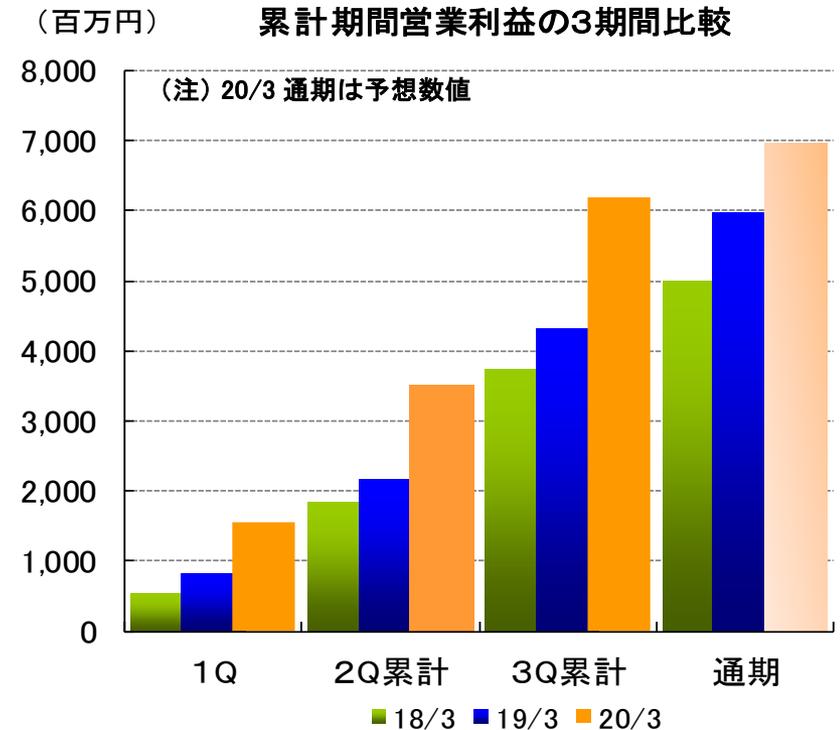
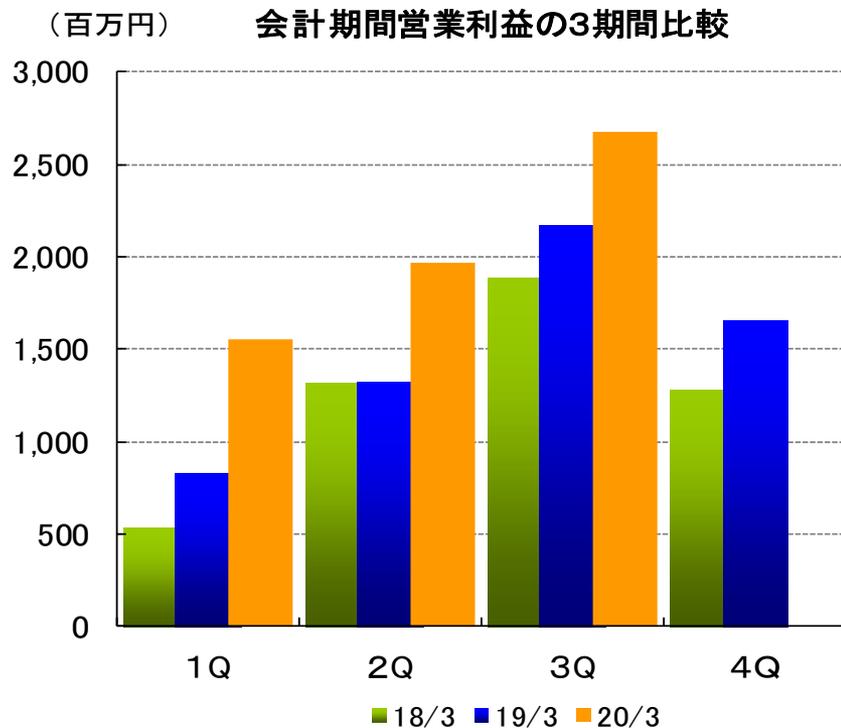
(百万円) 累計期間売上高の3期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
18/3	7,920	9,299	10,328	9,838	7,920	17,219	27,547	37,385
19/3	8,601	9,747	11,268	11,153	8,601	18,348	29,616	40,769
20/3	10,627	11,761	13,287	-	10,627	22,388	35,675	45,200
増減率	23.5%	20.7%	17.9%	-	23.5%	22.0%	20.5%	10.9%

四半期業績の推移(営業利益)

19四半期連続で増益/3Q(会計)23.3%増益



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
18/3	535	1,314	1,882	1,281	535	1,849	3,731	5,012
19/3	830	1,321	2,167	1,658	830	2,151	4,318	5,976
20/3	1,555	1,964	2,672	-	1,555	3,519	6,191	6,970
増減率	87.4%	48.6%	23.3%	-	87.4%	63.6%	43.4%	16.6%

貸借対照表

(百万円、%)	18年3月期		19年3月期		20年3月期3Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	10,925	49.0	13,202	50.9	15,258	53.0	2,056	15.6
固定資産	11,352	51.0	12,751	49.1	13,512	47.0	761	6.0
資産合計	22,277	100.0	25,954	100.0	28,770	100.0	2,816	10.9
流動負債	4,908	22.0	5,804	22.4	6,006	20.9	202	3.5
固定負債	1,898	8.5	1,855	7.1	1,752	6.1	△ 103	△ 5.5
負債合計	6,805	30.5	7,659	29.5	7,758	27.0	99	1.3
純資産	15,472	69.5	18,294	70.5	21,012	73.0	2,717	14.9
負債純資産合計	22,277	100.0	25,954	100.0	28,770	100.0	2,816	10.9
BPS(円)	497.16		587.87		675.19		87.32	14.9



2020年3月期 通期業績予想

(通期業績予想は2019年5月13日付で公表した期初予想からの変更はありません。)

2020年3月期 通期業績予想の補足説明

●予想スタンス

第3四半期累計業績の公表予想に対する進捗率は、売上面、利益面ともに堅調に進捗。通期業績予想は、期初予想からの変更はなし。

●新型コロナウイルスによる肺炎感染拡大の影響について

インバウンド対策として注力している国際線ターミナル売場での卸売上は、1月度の売上進捗は従来から変化はなかったものの、今後、感染拡大や中国からの団体ツアー旅行禁止などが長引けば、当該売場での売上への影響が懸念される。現在、状況の変化を注視しながら、販売方法の改善等対応強化に努めている。また、訪日外国客が多く訪れる北海道小樽市にある直営店舗についても、同様に売上への影響が懸念される。

●セグメント(その他)

海外連結子会社Honey Sucrey Limited(香港)は、香港の訪問者激減など事業環境の急激な悪化に伴い、事業再建が困難と判断し、本年1月に清算計画を決議。2月末迄を目途に事業を閉鎖。なお、これに伴い、当第3四半期において店舗等の固定資産の減損損失46百万円を特別損失に計上している。

2020年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高**45,200**百万円(前期比**+10.9%**)、経常利益**7,000**百万円(同**+16.4%**)
純利益**4,550**百万円(同**+14.5%**)

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	40,769	-	45,200	-	4,431	10.9
売上総利益	23,882	58.6	26,870	59.4	2,988	12.5
販売管理費	17,907	43.9	19,900	44.0	1,993	11.1
営業利益	5,976	14.7	6,970	15.4	994	16.6
経常利益	6,012	14.7	7,000	15.5	988	16.4
純利益	3,972	9.7	4,550	10.1	578	14.5
EPS(円)	127.64		146.21		18.57	14.5
1株当たり配当金(円)	40.00		40.00		-	-
設備投資	2,185		2,200		15	0.7
減価償却費	1,234		1,450		216	17.5

通期業績予想に対する進捗状況

公表予想に対する進捗率 売上高78.9%、経常利益89.2%

(百万円、%)	20年3月期 3Q累計		20年3月期(予想)		進捗率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	35,675	—	45,200	—	78.9
売上総利益	21,206	59.4	26,870	59.4	78.9
販売管理費	15,015	42.1	19,900	44.0	75.5
営業利益	6,191	17.4	6,970	15.4	88.8
経常利益	6,242	17.5	7,000	15.5	89.2
四半期(当期)純利益	3,970	11.1	4,550	10.1	87.3

● 予想数値は2019年5月13日付公表数値。

(ご参考)過去の通期実績に対する第3四半期累計進捗率

	売上高	経常利益
2018年3月期	73.7%	74.5%
2019年3月期	72.9%	74.3%

2020年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイ 売上高16,000百万円 営業利益2,480百万円

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	19/3月期	20/3月期予	増減額	増減率	19/3月期	20/3月期予	増減額
シュクレイ	13,860	16,000	2,140	15.4	2,090	2,480	390
ケイセイシー	12,012	13,000	988	8.2	1,553	1,790	237
寿製菓・但馬寿	10,080	10,680	600	6.0	1,073	1,156	83
販売子会社	5,829	6,170	341	5.8	467	507	40
九十九島グループ	3,759	4,300	541	14.4	120	220	100
その他	321	750	429	133.4	△ 91	△ 97	△ 6
セグメント計	45,862	50,900	5,038	11.0	5,211	6,056	845
調整額	△ 5,093	△ 5,700	△ 607	11.9	765	914	149
合計	40,769	45,200	4,431	10.9	5,976	6,970	994



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2020年経営スローガン

超現場主義

更なる成長に向け、最小単位プロフィット部門である現場長(店長・ラインリーダー)中心の経営スタイルに一層磨きをかけ、組織力の向上を図る

重点施策

- ①インバウンドで勝つ！
- ②アウトバウンドで勝つ！
- ③東京で勝つ！
- ④メインとニューで勝つ！

目標指標

売上高経常利益率 20%

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

重点施策

①インバウンドで勝つ！

- ・主要都市空港の国際線ターミナル免税エリアでの催事・常設売場拡大に注力
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



I LOVE CUSTARD NEUFNEUF
成田空港 南AKIHABARA 催事



LeTAO 関西空港 雅店

重点施策

②アウトバウンドで勝つ！

- ・ハイブリッド型店舗の出店強化
- ・出店地域は、台湾、香港、韓国、フィリピン、タイ、シンガポール、中国マレーシア



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
シンガポール Jewel Changi Airport店(2019年4月)

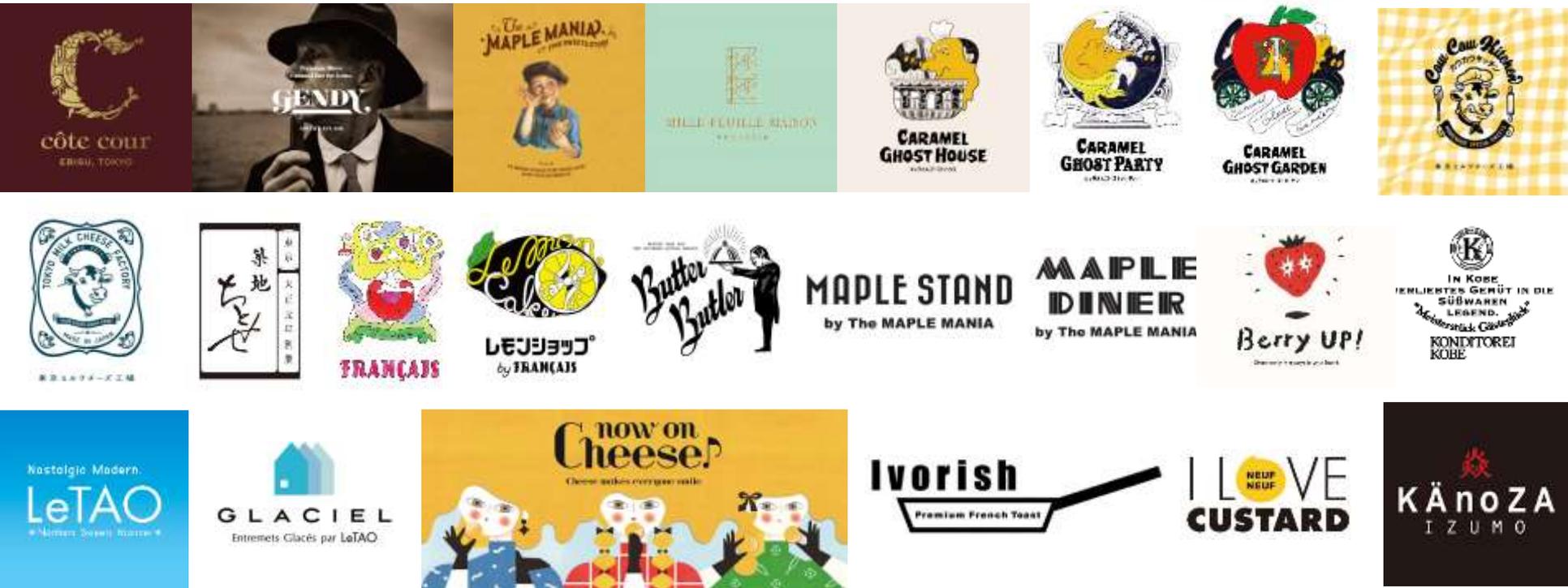


TOKYO MILK CHEESE FACTORY
中国上海 ガンフェイ店(2019年7月)

重点施策

③東京で勝つ！

- ・シュクレイ 既存店売上の増大、新規出店、リロケーション、催事強化及び卸売販路拡大
- ・グループ各社 主カブランドによる催事展開の推進



ハイブリッド型店舗とは



×



**CARAMEL
GHOST PARTY**
カaramel・ゴースト・パーティー

(物販)

Premium Gift Sweets

(カフェ・工房)

Premium Fresh Sweets



×



(物販)

Premium Gift Sweets

(カフェ・工房)

Premium Fresh Sweets

重点施策

④メインとニューで勝つ！

- ・既存ブランド・既存店・既存商品の深化を推進
- ・新ブランド・新店舗・新商品で新たな世界観を創り出す



東京ミルクチーズ工場



COCKTAIL
CHOCOLAT
BAR



バーでカクテルをたしなむように
その日の心もようで、お好みのショコラバーを。



*Some days chocolate can be the replacement
as an umbrella in your lonely days.*

重点施策数値目標

(単位：百万円)

	実績 18年3月期	実績 19年3月期	目標 20年3月期	中期目標 23年3月期
国際線ターミナル 売店卸売上(インバウンド売上)	3,472	4,605	5,700	10,000
海外売上	1,156	1,318	1,800	2,500
シュクレイ売上	11,547	13,860	16,000	25,000

海外売上…台湾及び香港(20/3期から)は現地法人売上、その他の地域は国内出荷売上(ロイヤルティ含む)
シュクレイ売上…シュクレイ売上は国際線ターミナル売店売上(インバウンド売上)及び海外売上を含む

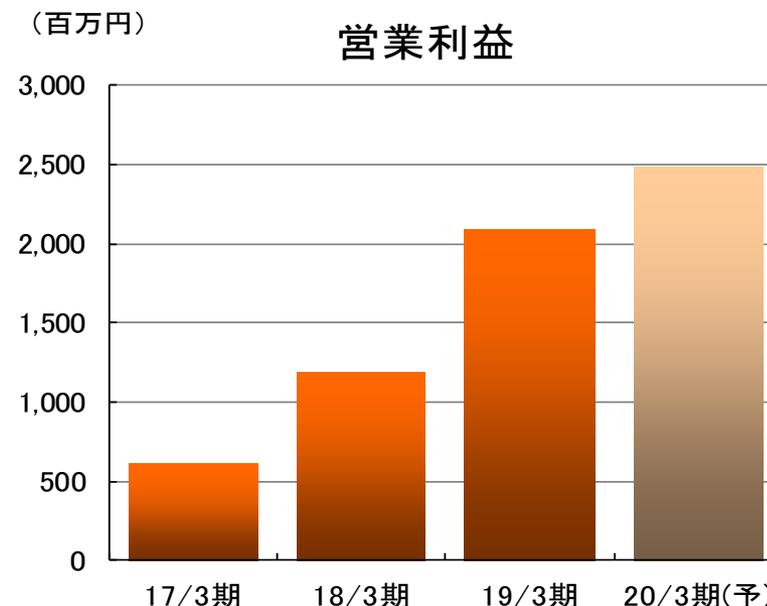
セグメント別概況



- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

《シュクレイ》

20/3期予想:売上高 **16,000**百万円(前期比**+15.4%**)営業利益 **2,480**百万円(同**+18.7%**)



シュクレイ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,275	11,547	13,860	2,313	20.0	16,000	2,140	15.4
売上総利益	4,990	6,692	8,682	1,991	29.7	10,120	1,438	16.6
粗利率	53.8	58.0	62.6	4.7		63.3	0.6	
販売管理費	4,379	5,504	6,592	1,089	19.8	7,640	1,048	15.9
営業利益	611	1,188	2,090	902	76.0	2,480	390	18.7

※従来、独立セグメントとしていたフランセは、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、シュクレイに統合。17/3期実績は、当該報告セグメント区分に基づき組替えた数値を使用しております。



《シュクレイ》

現場力の強化により、更なるブランド価値の向上を図り、首都圏での成長を加速させる

- ・既存店の更なるレベルアップと新規出店、リロケーション、催事及び卸展開の強化
- ・新規出店では、駅商業施設を中心にハイブリッド型店舗による新たな売場獲得を図る



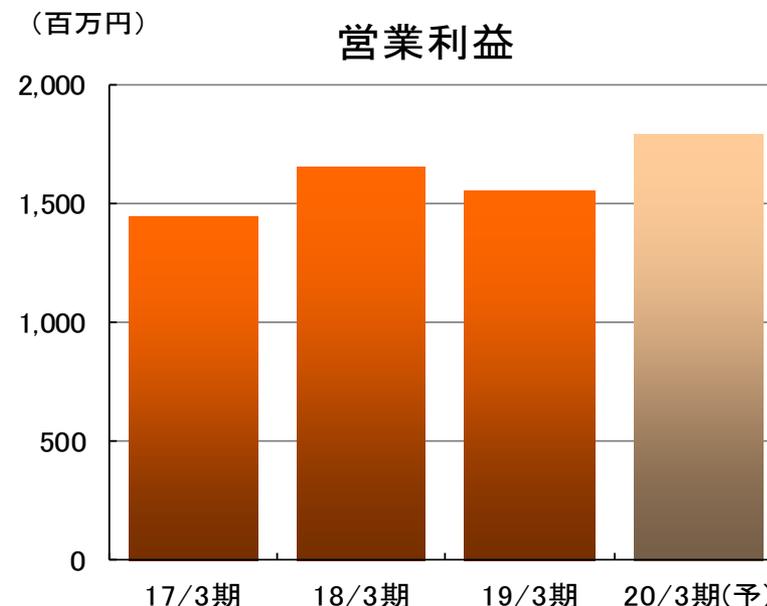
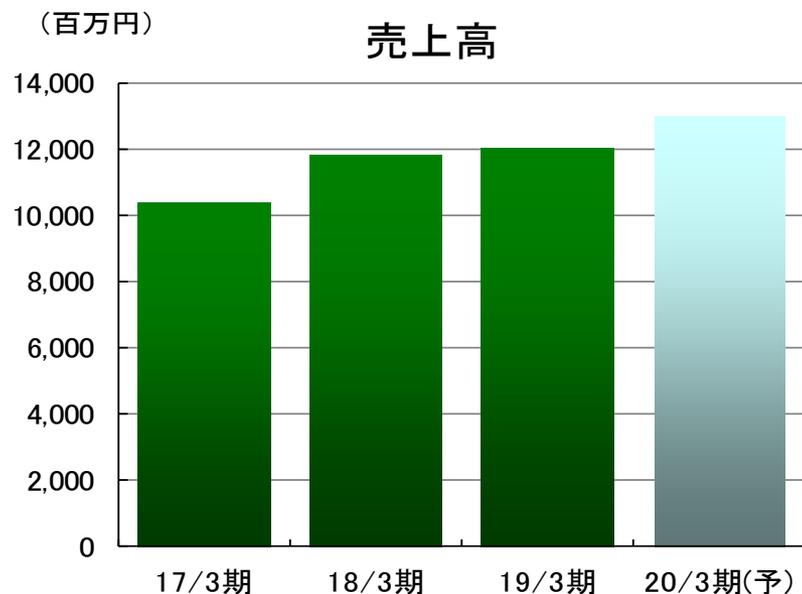
Cow Cow Kitchen ミルクパイ ストロベリー



FRANÇAIS 熟成をたのしむブランデーケーキ
(渋谷店限定)

《ケイシイシイ》

20/3期予想:売上高 **13,000**百万円(前期比**+8.2%**)営業利益 **1,790**百万円(同**+15.3%**)



ケイシイシイ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,376	11,841	12,012	170	1.4	13,000	988	8.2
売上総利益	6,280	7,230	7,479	249	3.4	8,170	691	9.2
粗利率	60.5	61.1	62.3	1.2		62.8	0.6	
販売管理費	4,834	5,573	5,927	353	6.3	6,380	453	7.6
営業利益	1,446	1,657	1,553	△ 105	△ 6.3	1,790	237	15.3

《ケイシイシイ》

LeTAOの更なるブランド価値向上と新ブランド展開に注力

- ・商品開発を推進し、季節イベントでの訴求力向上を図る
- ・首都圏でのハイブリッド型店舗展開を推進
- ・通信販売はロイヤルカスタマー対策、季節限定商品等の強化を図る



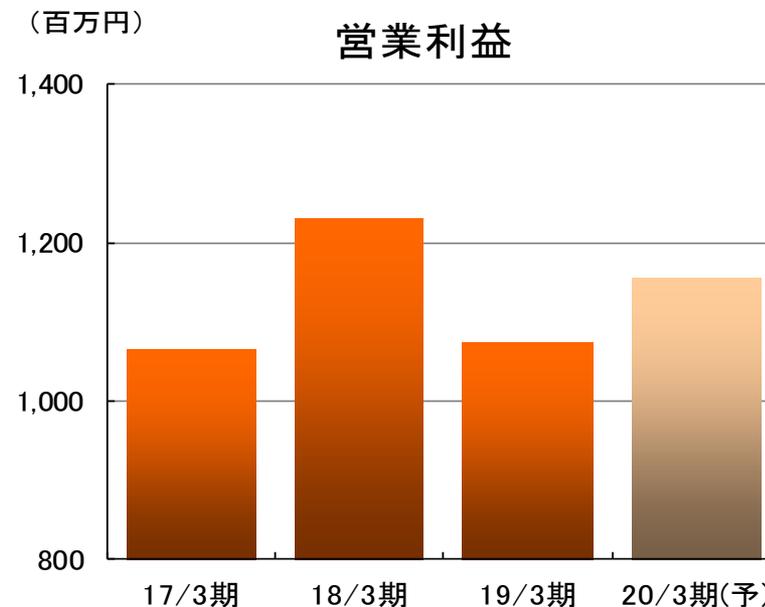
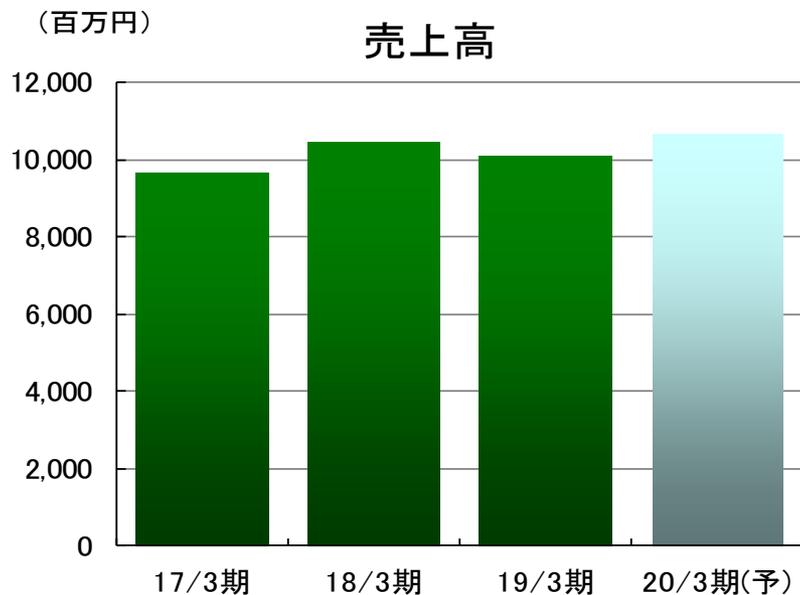
Good Morning Table 横浜高島屋店 (2019年11月)



now on Cheese ♪ エキユート大宮店 (2019年12月)

《寿製菓・但馬寿》

20/3期予想:売上高 **10,680**百万円(前期比**+6.0%**)営業利益 **1,156**百万円(同**+7.7%**)



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,635	10,428	10,080	△ 348	△ 3.3	10,680	600	6.0
売上総利益	3,748	3,958	3,866	△ 92	△ 2.3	4,026	160	4.1
粗利率	38.9	38.0	38.4	0.4		37.7	△ 0.7	
販売管理費	2,682	2,729	2,793	64	2.4	2,870	77	2.8
営業利益	1,065	1,230	1,073	△ 157	△ 12.7	1,156	83	7.7

《寿製菓・但馬寿》



新ライン体制構築により、多種多様な製品生産システムの一層のレベルアップを図る

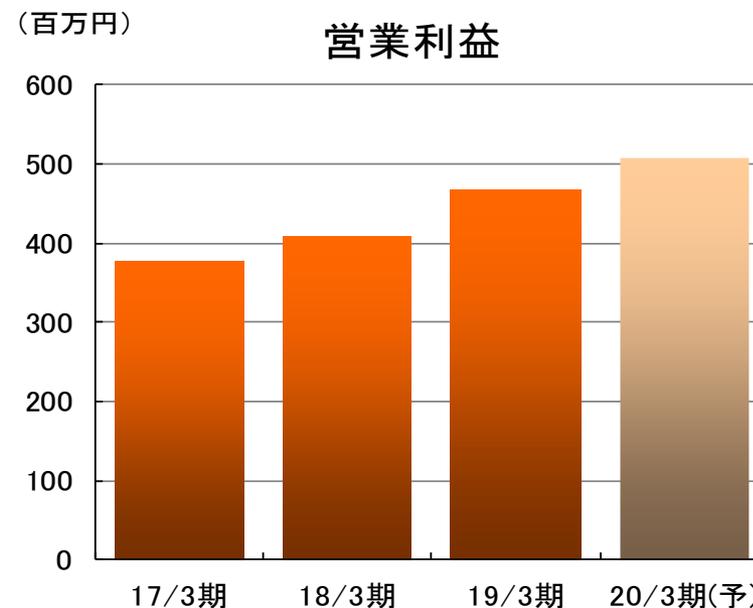
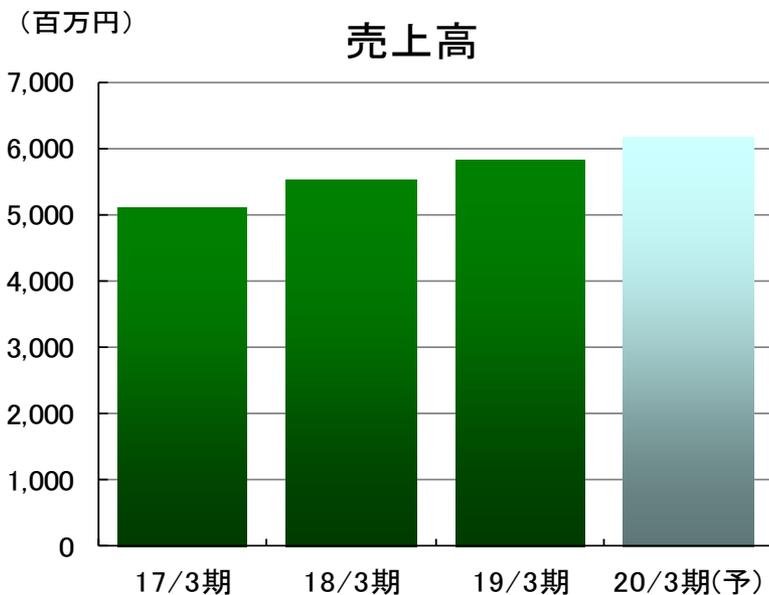
- ・代理店及びグループ各社との連携強化により、主力商品の強化及び新商品の育成をサポート
- ・自社ブランドでは、「因幡の白うさぎ」などの主力商品強化、「KANOZA」ブランドでの催事展開を推進



菓の座 鳥取駅リニューアルオープン(2019年10月)

《販売子会社》

20/3期予想:売上高 **6,170**百万円(前期比**+5.8%**)営業利益 **507**百万円(同**+8.6%**)



販売子会社

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	5,120	5,518	5,829	311	5.6	6,170	341	5.8
売上総利益	1,706	1,863	2,057	193	10.4	2,193	136	6.6
粗利率	33.3	33.8	35.3	1.5		35.5	0.3	
販売管理費	1,329	1,454	1,590	136	9.3	1,686	96	6.0
営業利益	377	409	467	57	14.0	507	40	8.6

《販売子会社》

主力商品の育成及び新商品の拡販に向け、提案営業強化

- ・交通拠点チャネル(駅・空港・SA)を中心に、売場拡大、リロケーションなど提案営業を強化



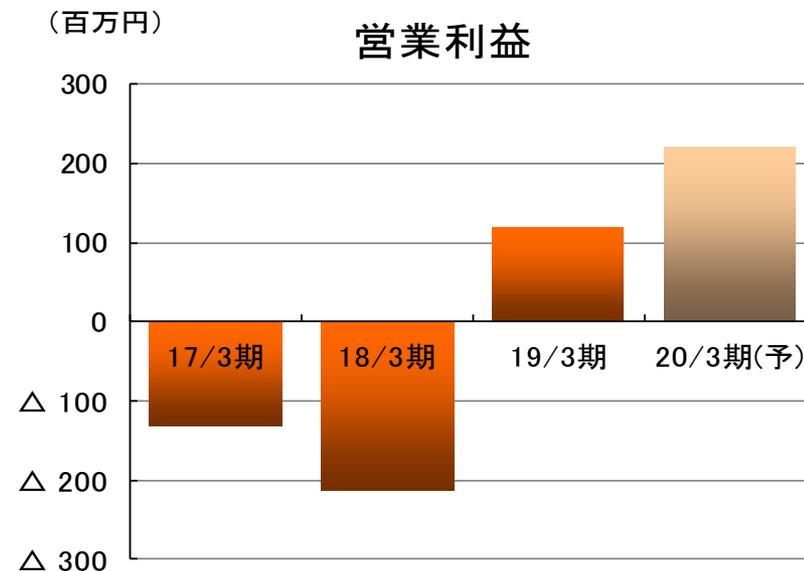
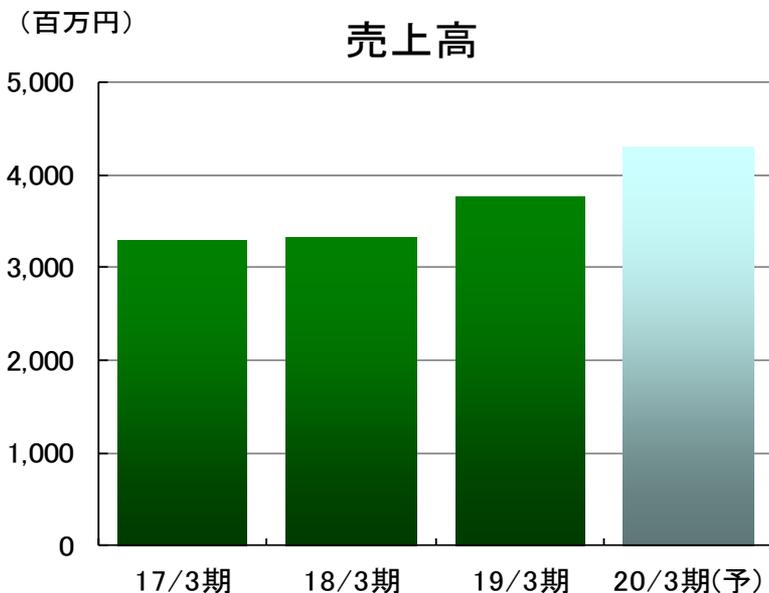
KYOTO VENETO 宝塚北SA



花福堂 明太子チーズサンドパリ 博多駅

《九十九島グループ》

20/3期予想:売上高 **4,300**百万円(前期比**+14.4%**)営業利益 **220**百万円(同**+83.8%**)



九十九島グループ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,287	3,319	3,759	440	13.3	4,300	541	14.4
売上総利益	1,389	1,383	1,709	326	23.6	1,990	281	16.5
粗利率	42.2	41.7	45.5	3.8		46.3	0.8	
販売管理費	1,519	1,596	1,589	△ 7	△ 0.4	1,770	181	11.4
営業利益	△ 131	△ 213	120	333	-	220	100	83.8

《九十九島グループ》

MISTER CAMELIST

更なる売上増大及び生産性の向上により、収益改善を図る

- ・主力商品強化及び新商品投入などにより長崎及び福岡エリアの売上増大を図る
- ・フレンチトースト専門店「Ivorish」は、既存店の充実と催事展開を強化し、ブランド認知度の向上を図る



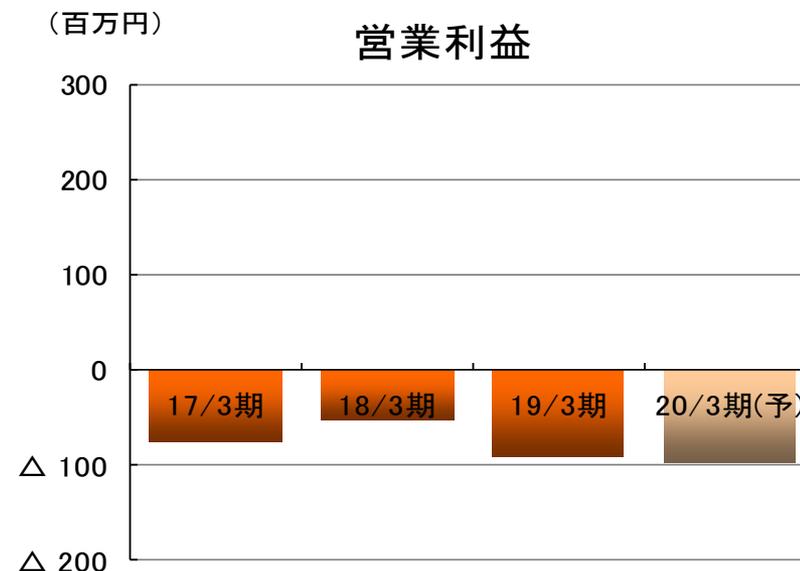
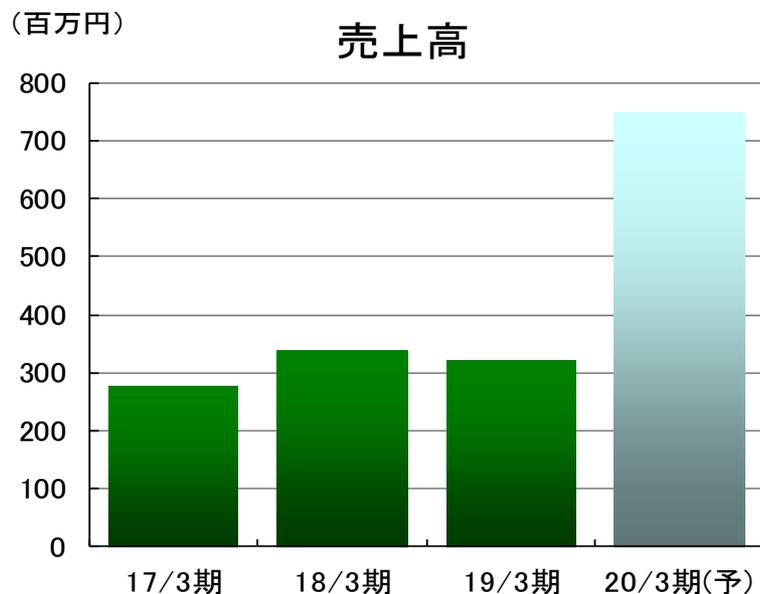
MISTER CAMELIST 博多駅(2019年10月)



トパーズ

《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾・香港)菓子事業>

20/3期予想:売上高 **750**百万円(前期比**+133.4%**)営業利益 **△97**百万円(前期△91百万円)



その他

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	278	340	321	△ 19	△ 5.5	750	429	133.4
売上総利益	175	198	191	△ 7	△ 3.4	468	277	144.4
粗利率	62.9	58.3	59.6	1.3		62.4	2.8	
販売管理費	250	251	283	32	12.8	565	282	99.7
営業利益	△ 75	△ 53	△ 91	△ 39	-	△ 97	△ 6	-

●20/3期(予想)より香港の連結子会社 Honey Sucrey Limitedを「その他」セグメントに含めております。

《その他》

- ・台湾菓子事業 ブランド価値の向上、新規出店などにより経営改善を図る
- ・香港菓子事業 清算決定により、本年2月末で全店舗閉店予定
- ・健康食品事業（純藍事業） 藍の認知度拡大と薬局向け卸ビジネスの構築に注力



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
台湾 台中新光三越

純藍



純藍茶



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2019年9月30日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

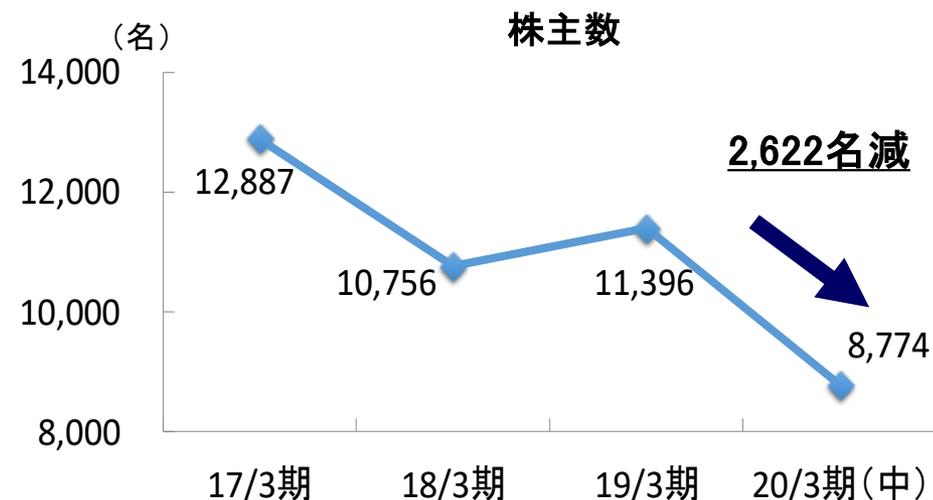
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 8,774名

(対前期末比 2,622名減)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,527,700	4.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,392,400	4.47
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
とりぎんリース株式会社	762,000	2.45

注)出資比率は、自己株式1,800株を除く

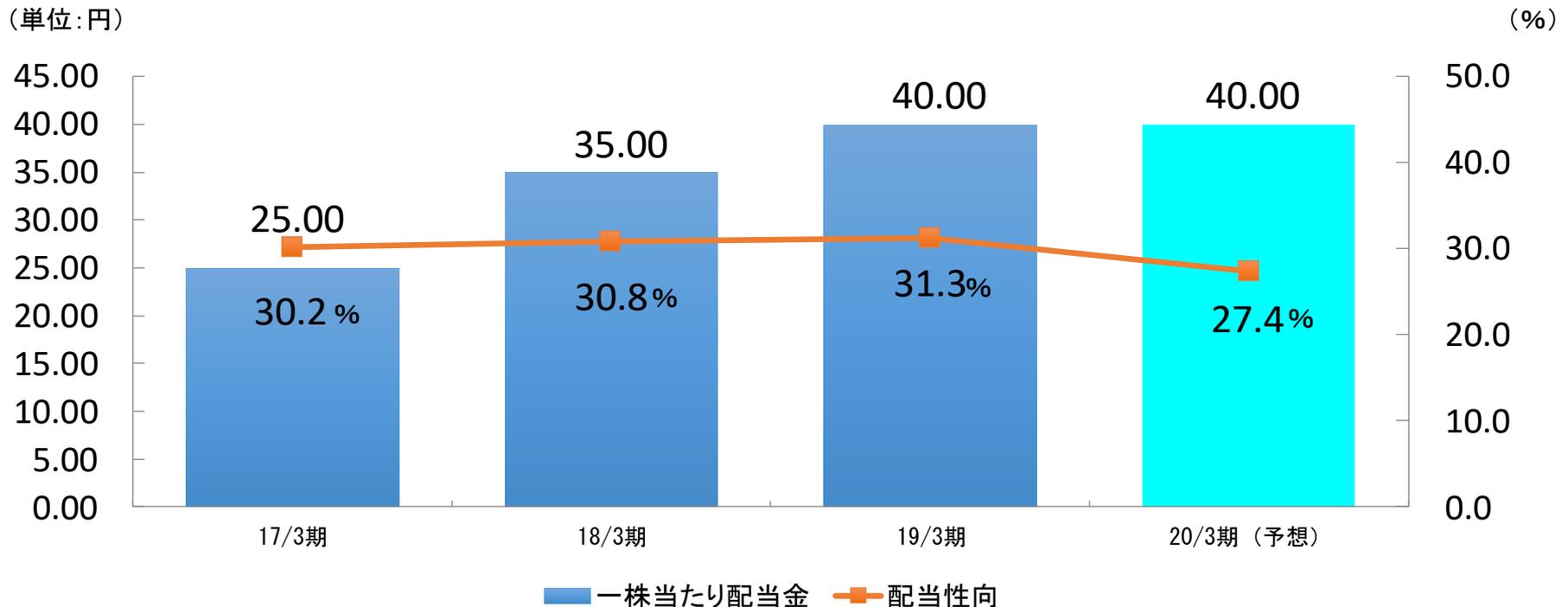
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2020年3月期1株当たり配当金予想 **40円**

一株当たり配当金・配当性向推移



株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

【2019年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様
2,000円相当のグループ製品



500株以上ご所有の株主様
4,000円相当のグループ製品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体7名・連結1,558名
グループ会社	連結子会社18社(国内16社・海外2社)
連結売上高	408億円(2019年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。
- 2018年11月 (平成30年) 合併会社の持分取得によりHoney Sucrey Limitedを子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



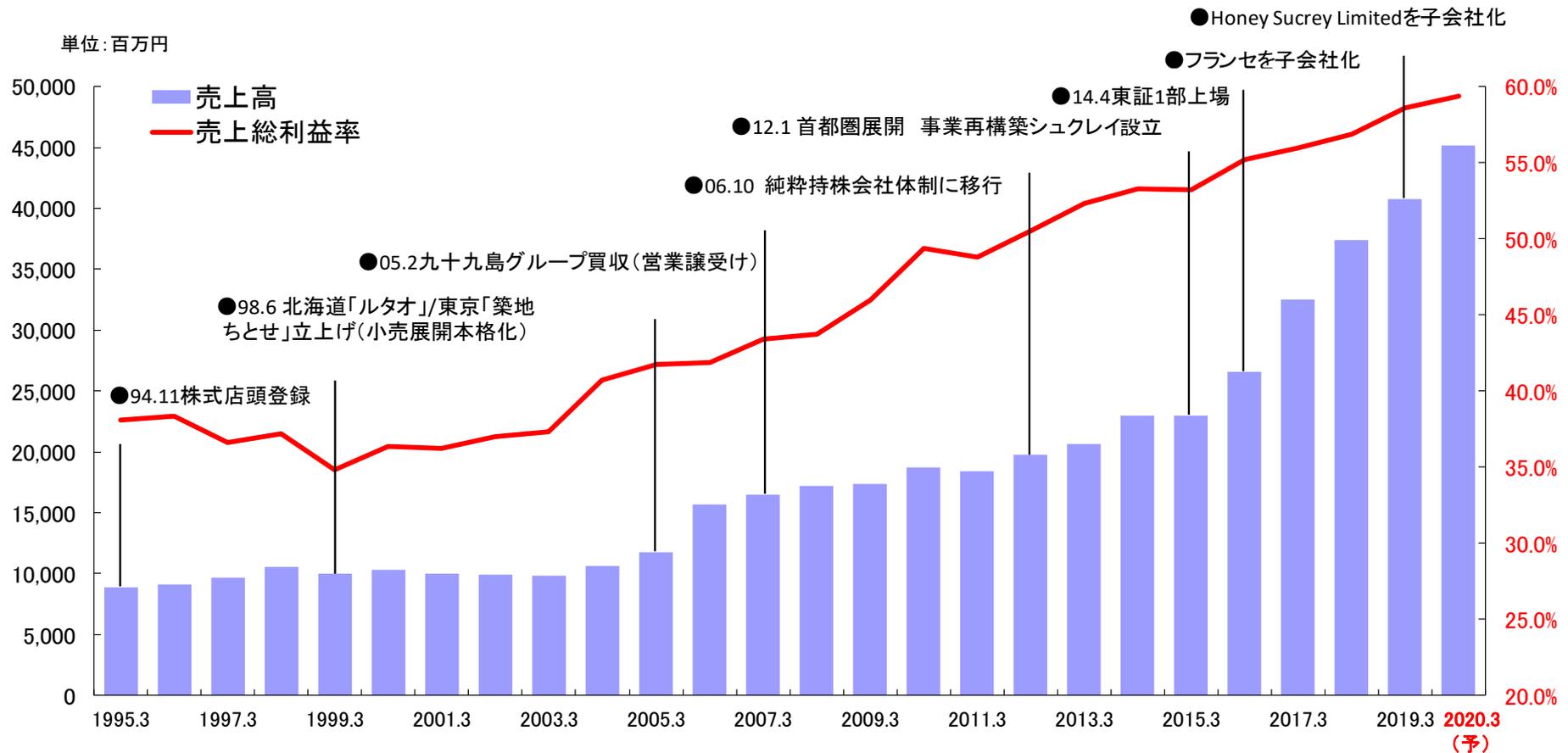
“ドゥーブルフロマージュ”



“九十九島せんぺい”

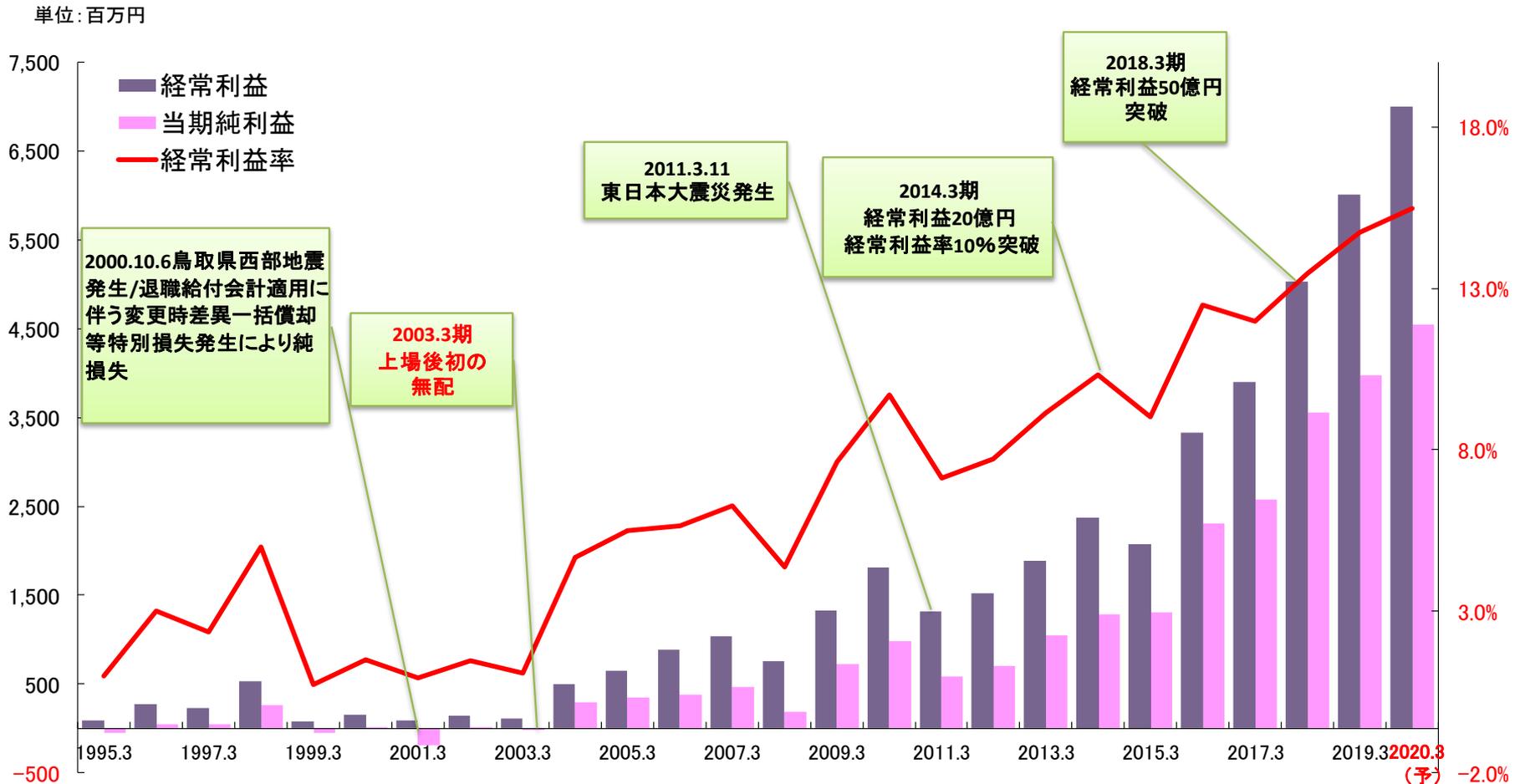
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

当期純利益 2013年3月期から7期連続で過去最高を更新



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

KÄNOZA
IZUMO

(山陰)



(北海道)

Ivorish

Premium French Toast

(福岡・東京)



(佐世保・福岡)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(東京)



(神戸)



(東京)



FRANÇAIS
(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」  寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



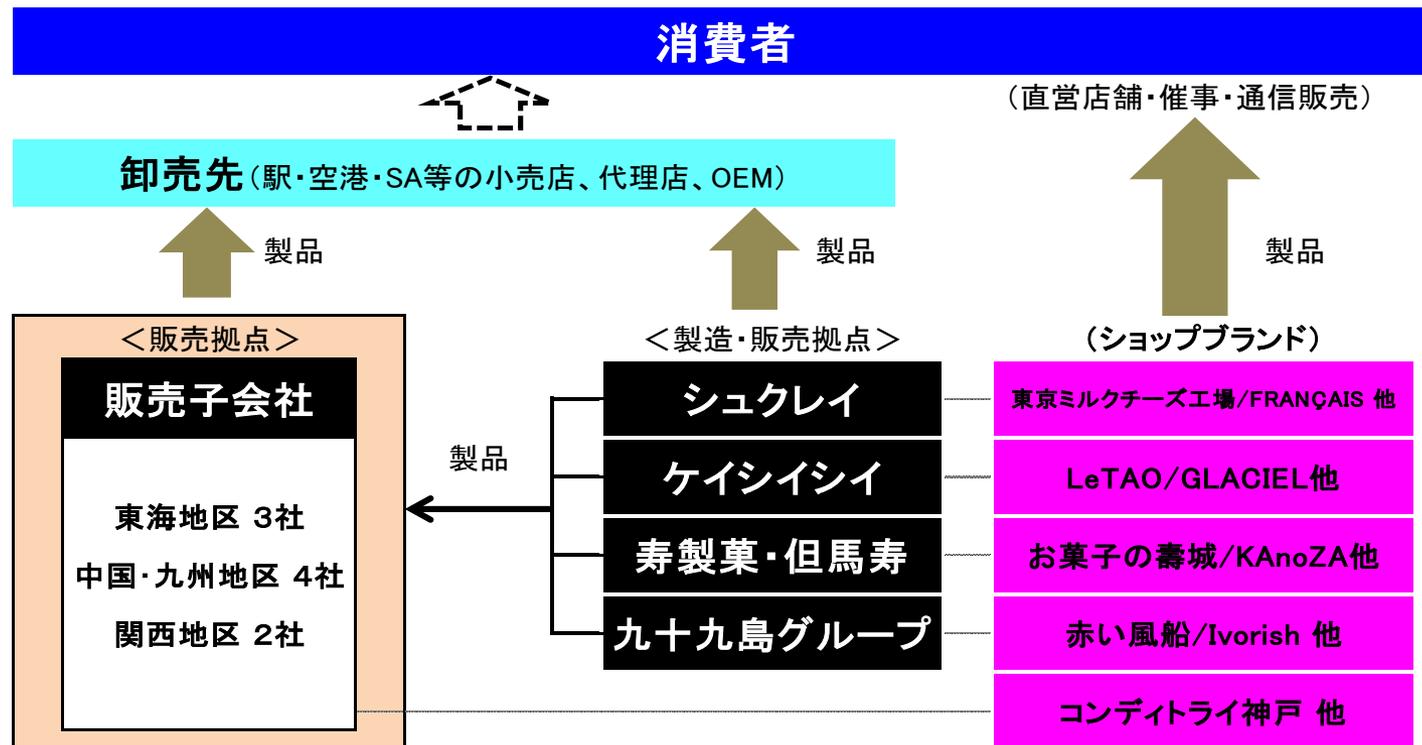
「九十九島せんべい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。

《シュクレイ》

●キャラメルゴーストハウスが絵本化!!

シュクレイのお菓子ブランド、キャラメルゴーストハウスの物語が絵本になりました。街のはずれの古いお屋敷でキャラメルおばけと黒猫のメルちゃんが年に一度のキャラメルパーティーを開催します。



《ケイシイシイ》

●小樽洋菓子舗ルタオ21周年祭

おかげさまで、小樽洋菓子舗ルタオは21周年を迎える事ができました。

6月に小樽洋菓子舗ルタオ本店2階カフェで3日間にわたりルタオ21周年祭を開催し、長年ご愛顧を頂いているお客様へ感謝の想いをお伝えしました。



《寿製菓・但馬寿》

●白うさぎ一座による紙芝居公演

寿製菓の社員有志で結成された白うさぎ一座。地元保育園での紙芝居公演は大人気。素敵な神話と美味しいお菓子が引き継がれていく事を願い、これからも「因幡の白うさぎ」を伝え続けていきます。



《九十九島グループ》

KUJUKUSHIMA GROUP

株式会社 九十九島グループ

●第22回YOSAKOIさせぼ祭りへの参画

第22回YOSAKOIさせぼ祭りで九十九島舞踊団菓楽がYOSAKOIの演舞を披露！
佐世保の街中で地元の皆様と一体となり、お祭りを盛り上げました。

